
助けて

暁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

助けて

【コード】

N0933BA

【作者名】

暁

【あらすじ】

私の別小説の番外編です。

(前書き)

私の別小説『リストカットフレンド』の番外編です。本編に彼は出てきません。

ただ今精神的にかなり落ち込んでいます。暴言は控えてください。

俺は昔から、『顔が怖い』というだけで怖れられ、ケンカに巻き込まれていた。誰も助けしてくれるものなどいない。自分をよく理解して守れるのは自分のみ。

そんな日々を続けて、なりたい職業もなく、夢もなく、ただフラフラと自分の居場所を続けていた。

結局なんとなくで医学系の学校に行き、なんとなく成績優秀になり、なんとなく学校の保険医になり、ある少女と出会った。

イジメを受けていて、いつもボロボロの彼女は、どんなに辛くても泣くことはなかった。…俺もあんな風になりたい。泣かずに生きていきたい…。

ある日少女が話し掛けてきた。

「先生、生きるって楽しい？」

「…わかんね」

「あはは、そうだよな」

「生きてりゃ楽しいことがあるって言っても、俺には楽しさが感じられない。何が楽しいのかわからない」

「じゃあ、先生の生きるって何？」

「…わかんね。ボクっとしていてるだけで1日が過ぎる。誰かは仕事しろって言うだろう。誰かは怠け者だと思っだろう。俺を何もわかっていないくせに、他人は俺を否定する。俺は…何をして生きればいいかわからないだけなんだ。みんな俺を否定する。優しさなんて上辺だけ。どうせ本心は俺なんかと話すのめんどくせえ。人生あと約80年、俺は何をして生きればいいんだろうな…」

「生きるための理由を見つげるために生きればいいんじゃない？」

「…お前も探しているのか？」

「……」

少女は哀しげに微笑むだけで、何も言わなかった。

数日後、少女は自殺した。学校ではイジメられ、家では父親に性的虐待と、居場所がなかった事が原因らしい。…俺も居場所がない。俺も死ぬのだろうか？ほとんど誰も参加していない少女の葬儀で、哀しげな少年を見つけた。

ある本を見つけ、少年は少女に恋をしていたことを知るのはずと先。今はまだ知らない。

どうして、少女は助けると言わなかったんだろう。

…ああ、言っても誰も受け入れてくれないんだ。誰も少女を助けてやらなかったんだ。

「……俺も同じか……」

少女はずっと、心の中で助けると叫び続けていたんだ。

俺もそうかもしれない…。

誰か助けて…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0933ba/>

助けて

2012年1月2日02時52分発行